YAMAHA

CDプレーヤー

CD-S303

JA 取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機は、ご家庭で音声を楽しむための製品です。
- 本説明書では、本機をお使いになる方のための設置や操作方法を説明しています。
- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本文書をよくお読みください。
  お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

人への危害や財産への損害を防止するために、ここに示した注意事項を必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

- 点検や修理は、必ず次の窓口にご依頼ください。
  - お買い上げの販売店
  - ヤマハ修理ご相談センター
- 本製品は一般家庭用機器です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。
- 不適切な使用や改造による、あらゆる損失については補償はいたしかねますので、ご了承ください。

記号表示について

本製品や本文書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

次のような異常が発生した場合、すぐに電源を遮断する。

- **電源コード・プラグが傷んだ場合**
- **機器から異臭、異音や煙が出た場合**
- **機器の内部に異物や水が入った場合**
- **機器に亀裂、破損がある場合**
- **使用中に音が出なくなった場合**

電源を遮断するための操作は次のとおりです。

- **機器の電源を切る**
- **電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因になります。至急、点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- **ストーブなどの熱器具に近づけない**
- **無理に曲げたり、加工しない**
- **傷つけない**
- **重いものをのせない**
- **ステープルで止めない**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは、本製品や電源プラグやコードに触らない。

感電の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、火災・感電・故障の原因になります。



必ず実行

電源の供給には、必ず次のものを使用する。

- **付属の電源コード**

火災・やけど・故障の原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用（125V まで)です。



禁止

次の付属品をほかの機器に使用しない。

- **電源コード**

火災・やけど・故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

火災・感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電やショートによる火災・故障の原因になります。


必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。


必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
火災・故障の原因になります。

分解禁止


禁止

本製品を分解したり改造したりしない。
火災・感電・けが・故障の原因になります。

水に注意


禁止

- **浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。**
- **本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。**

内部に水などの液体が入ると、火災・感電・故障の原因になります。


禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手で本製品を扱わない。
感電・故障の原因になります。

火に注意


禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

取り扱い


禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
火災・感電・故障の原因になります。

電池


禁止

- **電池を飲み込まない。**
- **電池は子供の手の届くところに置かない。**

誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどによる失明・炎症を起こすおそれがあります。電池収納部がしっかり閉まらない場合は、本製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けてください。電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡するおそれがあります。


禁止

- **電池を火の中に入れない。**
- **電池を日光や火のような高温に晒さない。**

破裂により、火災・けがの原因になります。


禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
液に触れると失明・化学やけどなどの原因になります。液に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。


禁止

- **指定以外の電池を使用しない。**
- **電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。**
- **種類の異なる電池を一緒に使用しない。**
- **+/ −の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。**
- **電池を分解しない。**
- **使い切りタイプの乾電池は充電しない。**

破裂や液漏れにより、火災・やけど・失明・炎症・故障の原因になります。液に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。


禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災・失明・けがの原因になります。


必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池をリモコンから抜いておく。
電池から液漏れが発生し、失明・炎症・故障の原因になります。


必ず実行

電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。
他の電池や金属製のものと混ぜると、破裂や液漏れにより、火災・やけど・失明・炎症の原因になります。

視覚障害


禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。

⚠ 注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源


禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。
火災・感電・やけどの原因になります。


必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。

設置


禁止

不安定な場所や振動する場所に置かない。
落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。


禁止

本製品を設置する際は、放熱を妨げない。
- **布やテーブルクロスをかけない**
- **じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない**
- **天面以外を上にして設置しない**
- **風通しの悪い狭いところへは押し込まない**

機器内部に熱がこもり、火災・故障・誤動作の原因になります。本製品の周囲に上2.5cm、左右2.5cm、背面2.5cm以上のスペースを確保してください。


必ず実行

地震のときは、本製品から離れる。
落下や転倒により、けがの原因になります。


必ず実行

本製品を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、すべての接続ケーブルを外す。
ケーブルに足や手を引っかけると、落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。

接続


必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。
説明に従って正しく取り扱わない場合、けが・故障の原因になります。

聴覚障害


禁止

長時間、大音量で聴かない。
聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。


必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
聴覚障害・感電・故障の原因になります。


必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、アンプやレシーバーをいつも最後に入れる。電源を切るときは、アンプやレシーバーを最初に切る。
聴覚障害・故障の原因になります。

お手入れ


必ず実行

お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

取り扱い


禁止

本製品のすき間に手や指を入れない。
けがの原因になります。


禁止

本製品のすき間に金属や紙片などの異物を入れない。
火災・感電・故障の原因になります。


禁止

次のような、無理な力がかかることをしない。
- **本製品の上に乗る**
- **本製品の上に重いものを載せる**
- **本製品を重ねて置く**
- **ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える**

けが・故障・破損の原因になります。


禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。
落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。

使用上のご注意

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの消失を防ぐため、お守りいただく内容です。

電源

- 本製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。フロントパネルの［⏻］（電源）で本機をオフ状態にしても微電流が流れています。

設置

- 周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。その場合は、本製品の設置場所、向きや周囲の環境を変えてください。
- 次のような場所に設置しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 極端に温度が高い場所や低い場所
  - ほこりが多い場所

  故障・変形・動作不良の原因になります。
- 周囲温度が極端に変化するなど、結露が発生しそうな場所には設置しないでください。結露した状態で使用すると故障の原因になります。結露しているおそれがある場合は、電源を切らずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。

取り扱い

- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。パネルの変色・変質の原因になります。

お手入れ

- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かないでください。変色・変質の原因になります。

重要なお知らせ

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

製品に搭載されている機能

- 本製品は、日本国内専用です。

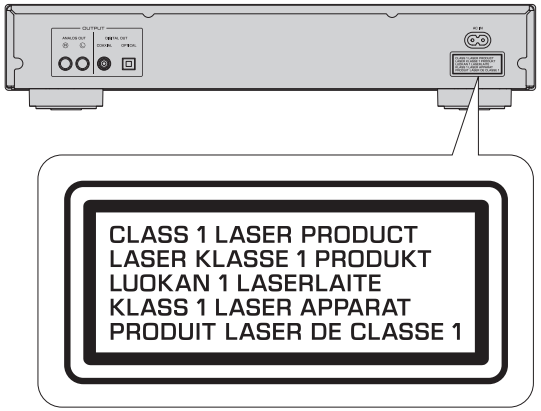
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

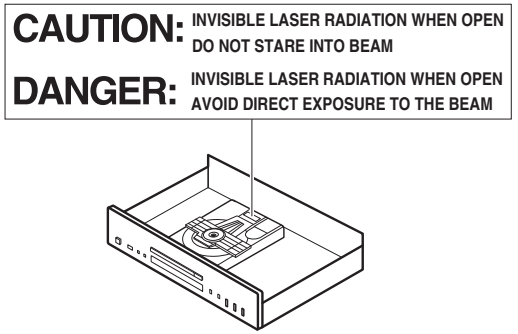
廃棄 · 譲渡

- 本製品を譲渡する際は、本文書と付属品も合わせて譲渡してください。
- 本製品および付属品を廃棄する際は、各自治体の廃棄処分方法に従ってください。
- 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

警告

本文書に記載されていない方法で操作したり、調整したりすると危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。





ソフトウェアライセンス

本機は以下のソフトウェアを使用しています。

FLAC

Copyright © 2000–2009 Josh Coalson
Copyright © 2011–2021 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

目次

ご使用になる前に 8

本機の特長 8
本文書について 8
付属品を確認する 9

準備 10

アンプを接続する 10
電源コードを接続する 10
電源を入れる 11

再生 12

CD を再生する 12
USB メモリーの音楽を再生する 13
便利な機能 14
- ランダム再生をする 14
- リピート再生をする 14
- 指定した順番で再生する（プログラム再生） 14
- 指定した部分をリピート再生する（A-B リピート再生） 15
- 高音質な再生を楽しむ (PURE DIRECT [ピュアダイレクト]) 15
- ディスプレイの表示を変更する 15
- ディスプレイの明るさを変更する 15

付録 16

各部の名称 16
- フロントパネル 16
- ディスプレイ 17
- リアパネル 17
- リモコン 18

詳細設定 19
- 再生モードメモリー（PLAY MEM） 19
- レディモード（RDY MODE） 19
- 自動再生（AUTO PLAY） 19
- 自動スタンバイ（AUTO STBY） 19

再生できるファイルフォーマット / ディスク /USB メモリー 20
仕様 21
故障かな？と思ったら 22

ご使用になる前に

本機の特長

- 光デジタル出力端子
- 同軸デジタル出力端子
- CD-R、CD-RW ディスクの再生
- USB メモリーおよびデータ CD に保存された各種ファイルの再生（MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC）
- ランダム再生（14 ページ）
- リピート再生（14 ページ）
- プログラム再生（オーディオ CD のみ）（14 ページ）
- A-B リピート再生（オーディオ CD のみ）（15 ページ）
- PURE DIRECT（ピュアダイレクト）機能（15 ページ）
- ディスプレイの設定機能（表示内容 / 明るさ）（15 ページ）
- リモコン操作によるスタンバイ ON/OFF 制御
- 再生モードメモリー（19 ページ）
- レディモード（19 ページ）
- 自動再生機能（19 ページ）
- 自動スタンバイ機能（19 ページ）

本文書について

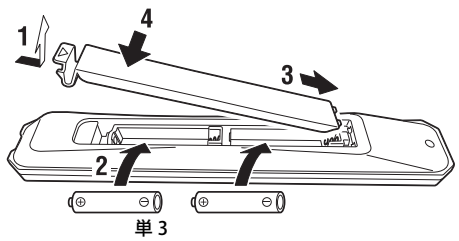
- 本文書では、付属のリモコンによる操作を主として説明しています。
- 本文書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- 本文書では、音楽 CD をオーディオ CD、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC をデータ CD と表記します。
- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- 「**警告**」は、死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される内容です。
- 「**注意**」は、傷害を負う可能性が想定される内容です。
- **注意** は、製品の故障、損害や誤動作を防ぐため、お守りいただく内容です。
- **お知らせ** は、知っておくと便利な補足情報です。

付属品を確認する

- リモコン
- 電源コード
- ステレオピンケーブル
- 単 3 乾電池（2 本）
- 取扱説明書（本文書）

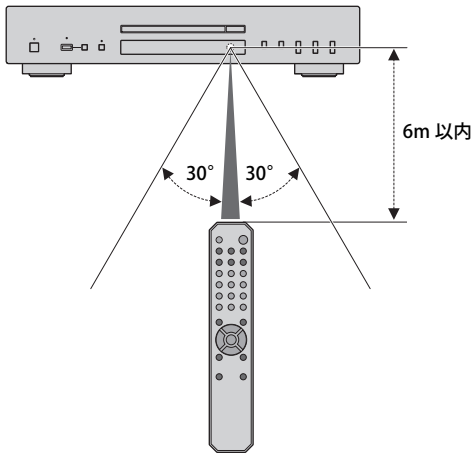
電池の入れ方

正しい向き（＋と－）でリモコンに入れてください。



リモコンの操作範囲

本体のリモコン信号受光部に向け、右図の範囲内で操作してください。



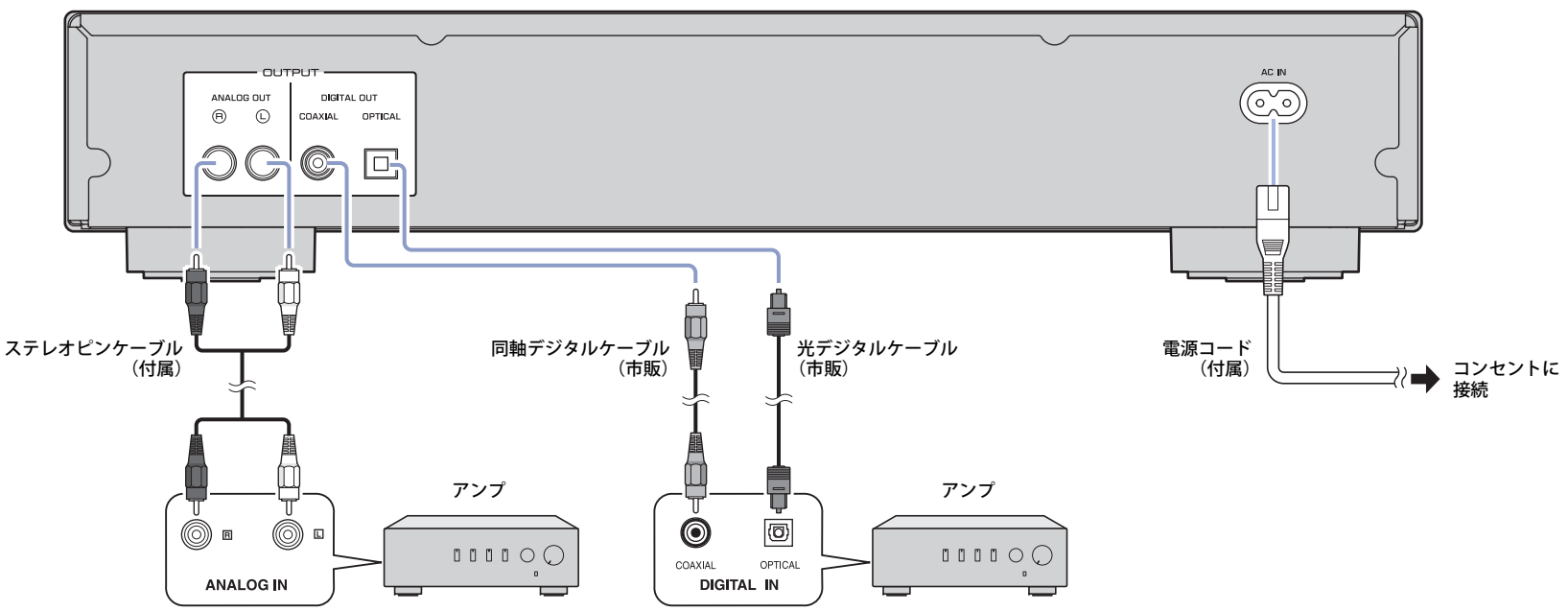
準備

アンプを接続する

注意

- すべての接続が終わるまで、本機や本機に接続した機器の電源コードをコンセントに差し込まないでください。

本機（リアパネル）

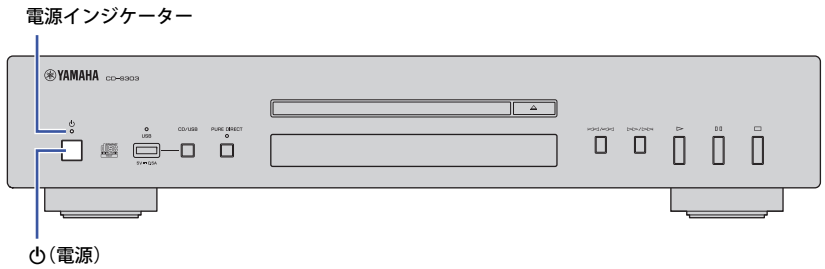


電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、付属の電源コードを本機の AC IN 端子に差し込み、AC100V、50/60 Hz のコンセントに電源プラグを接続します。

電源を入れる

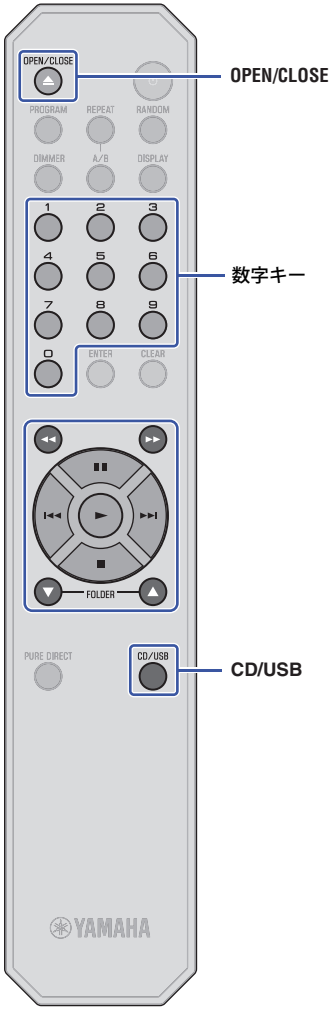
フロントパネルの ⏻(電源)を押して、本機の電源をオンにします。



お知らせ

- 本機の電源がオンのとき、リモコンの ⏻ (電源)を押すと本機の電源はスタンバイになります。
- 本機の電源インジケーターは、以下のように動作します。

  点灯:電源がオンの状態
  暗い点灯:電源がスタンバイの状態
  消灯:電源がオフの状態
- 本機には、電力の消費を抑える機能(自動スタンバイ)があります(19 ページ)。
  (初期設定: 自動スタンバイオン)



再生

CD を再生する

本機では、オーディオ CD のほかにデータ CD も再生できます。再生できる CD については、「再生できるファイルフォーマット / ディスク /USB メモリー」(20 ページ)をご覧ください。

1 フロントパネルの USB インジケーターが点灯している場合は、CD/USBを押して、ディスクモードに切り替える。

2 ディスクトレイに CD をセットする。

OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開閉します。

お知らせ

- フロントパネルの ⏏ (開閉)を押してもディスクトレイを開閉できます。
- オーディオ CD の場合、再生準備が完了するとディスプレイの再生メディアインジケーター(CD)が点灯します。

3 ▶ (再生)を押す。

ディスプレイの ▶ (再生)インジケーターが点灯し、再生を開始します。

お知らせ

- 再生するファイルフォーマットに応じて、再生メディアインジケーターが点灯します。

注意

- ディスクトレイに手や指を入れないようにしてください。けがの原因になります。

お知らせ

- ディスクトレイに CD をセットしたあと、以下の操作をした場合もディスクトレイが閉まり再生を開始します。
  - ▶ (再生)を押す。
  - トラック番号の数字キーを押す。
- 本機の電源をオンにしたときやディスクモードと USB モードを切り替えたとき、自動的に再生を開始するかどうかを設定できます(19 ページ)。
  (初期設定: 自動再生オン)

リモコンの以下のキーを使って操作をします。

使用できるリモコンキー	機能
▶ (再生)	ディスプレイの ▶ (再生)インジケーターが点灯し、再生を開始します。
❚❚ (一時停止)	ディスプレイの ❚❚(一時停止)インジケーターが点灯し、再生を一時停止します。▶ または ❚❚ を押すと再生を再開します。
■ (停止)	再生を停止します。
◀◀ (早戻し)*	曲を早戻します。
▶▶ (早送り)*	曲を早送りします。
▏◀◀ (頭出し)*	前の曲にスキップします。再生中に押すと曲の先頭に戻ります。
▶▶▏(頭出し)*	次の曲にスキップします。
数字キー	トラック番号で曲を直接選択します。
FOLDER ▲、▼ (データ CD のみ)	フォルダーを選びます。

* フロントパネルの操作ボタンを使用する場合、以下のように動作します。

⏮/◁◁ (頭出し / 早戻し):
前の曲にスキップします。再生中に押すと曲の先頭に戻ります。長押しすると早戻しします。

▷▷/⏭ (頭出し / 早送り):
次の曲にスキップします。長押しすると早送りします。



USB メモリーの音楽を再生する

USB メモリーに保存されている音楽ファイルを本機で再生します。再生できる USB メモリーについては、「再生できるファイルフォーマット / ディスク /USB メモリー」(20 ページ)をご覧ください。

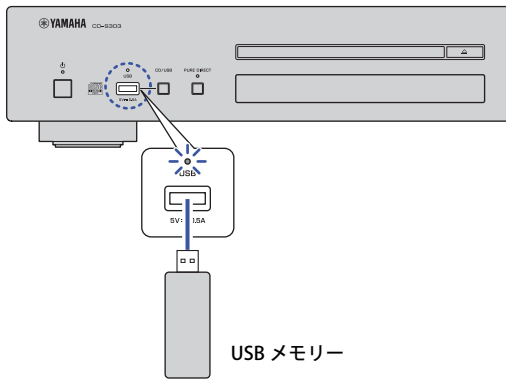
1 フロントパネルの USB インジケーターが消灯している場合は、CD/USB を押して、USB モードに切り替える。

フロントパネルのUSBインジケーターがオレンジ色に点灯します。

2 USB メモリーを USB 端子に接続する。

再生準備が完了するとディスプレイの再生メディアインジケーター(USB)が点灯し、フロントパネルの USB インジケーターが緑色に点灯します。

本機(フロントパネル)



注意

- USB 延長ケーブルを使わないでください。

3 ▶ (再生)を押す。

ディスプレイの ▶ (再生)インジケーターが点灯し、再生を開始します。

お知らせ

- 再生するファイルフォーマットに応じて、再生メディアインジケーターが点灯します。
- USBメモリー内に再生可能なファイルが保存されている場合、ファイルの作成日が古い順に再生します。

注意

- 再生中、またはフロントパネルの情報ディスプレイに「USB READING」と表示されている間は、USB メモリーを取り外さないでください。CD/USB を押してディスクモードに切り替え、USB インジケーターが消灯してから USB メモリーを取り外すことをおすすめします。

リモコンの以下のキーを使って操作をします。

使用できるリモコンキー	機能
▶ (再生)	ディスプレイの ▶ (再生)インジケーターが点灯し、再生を開始します。
❚❚ (一時停止)	ディスプレイの ❚❚(一時停止)インジケーターが点灯し、再生を一時停止します。▶ または ❚❚ を押すと再生を再開します。
■ (停止)	再生を停止します。
◀◀ (早戻し)*	曲を早戻します。
▶▶ (早送り)*	曲を早送りします。
⏮ (頭出し)*	前の曲にスキップします。再生中に押すと曲の先頭に戻ります。
⏭ (頭出し)*	次の曲にスキップします。
FOLDER ▲、▼	フォルダーを選びます。

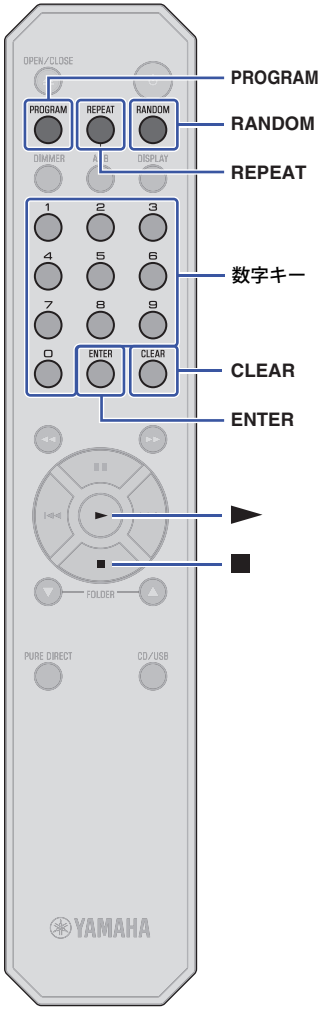
* フロントパネルの操作ボタンを使用する場合、以下のように動作します。

⏮/◀◀ (頭出し / 早戻し):

前の曲にスキップします。再生中に押すと曲の先頭に戻ります。長押しすると早戻しします。

▶▶/⏭ (頭出し / 早送り):

次の曲にスキップします。長押しすると早送りします。



便利な機能

再生モードやディスプレイ設定を変更します。

ランダム再生をする

RANDOM（ランダム）を押すと曲をランダムに再生します。
RANDOM を押すたびに、以下のようにランダム再生の設定が切り替わります。

インジケーター	設定
RNDM	全曲をランダム再生します。
消灯	ランダム再生しません。

お知らせ

- ディスクトレイを開けるとランダム再生は解除されます。

リピート再生をする

REPEAT（リピート）を押すと曲をリピート再生します。再生中に REPEAT を押すたびに、以下のようにリピート再生の設定が切り替わります。

インジケーター	設定
REP	1 曲をリピート再生します。
REP FOLDER（データ CD、USB メモリーのみ）	フォルダー内の曲をリピート再生します。
REP ALL	全曲をリピート再生します。
消灯	リピート再生しません。

お知らせ

- ディスクトレイを開けるとリピート再生は解除されます。

指定した順番で再生する（プログラム再生）

オーディオ CD の曲を指定した順番で再生します。

1 再生停止中に PROGRAM（プログラム）を押す。



2 登録したい曲のトラック番号を数字キーで入力する。



3 ENTER（エンター）を押す。

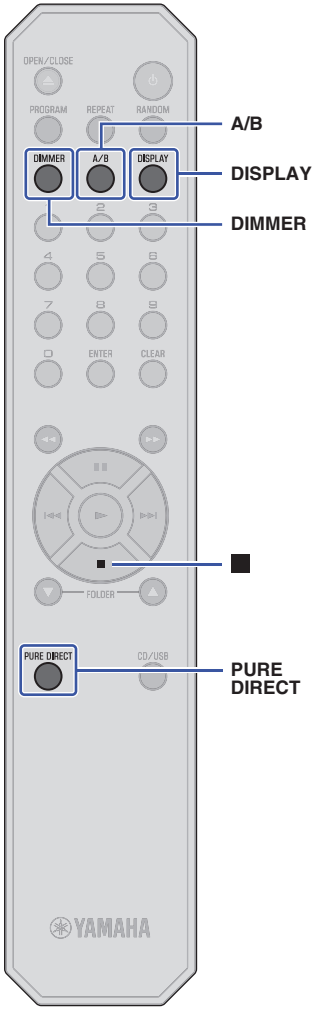
手順 2 と 3 を繰り返して曲を登録していきます。
CLEAR（クリア）を押すと、登録した最後の曲から順に消去できます。

4 ► （再生）を押す。

登録した順番で再生を開始します。

お知らせ

- データ CD と USB メモリーではプログラム再生できません。
- 最大 24 曲まで登録できます。
- 以下の操作をすると登録した曲はすべて消去されます。
  - プログラム再生の停止中に CLEAR を押す。
  - 本機の電源をオフまたはスタンバイにする。
  - ディスクトレイを開ける。



指定した部分をリピート再生する（A-B リピート再生）

オーディオ CD の再生中に、開始位置と終了位置を指定して、その部分をリピート再生します。

1 オーディオ CD を再生する。

2 リピートを開始したい位置で A/B を押す。



3 リピートを終了したい位置で再度 A/B を押す。

リピート再生を開始します。



お知らせ

- データ CD と USB メモリーでは A-B リピート再生できません。
- PURE DIRECT 機能がオンのときは、A-B リピートの設定はできません。
- 以下の操作をすると A-B リピート再生は解除されます。
  - A/B を再度押す。
  - ■（停止）を押す。
  - ディスクトレイを開ける。

高音質な再生を楽しむ (PURE DIRECT [ピュアダイレクト])

PURE DIRECT 機能をオンにすると、デジタル音声出力を停止します。これにより、音質に影響を与えるノイズが低減され高音質な再生を楽しむことができます。

PURE DIRECT を押すたびに PURE DIRECT 機能のオン / オフが切り替わります。

お知らせ

- PURE DIRECT 機能を使用するときは、リアパネルの ANALOG OUT 端子を使って接続してください。DIGITAL OUT 端子からは信号が出力されなくなります。
- PURE DIRECT 機能をオンにすると：
  - PURE DIRECT インジケーターが点灯します。
  - コンテンツの再生中はフロントパネルのディスプレイは消灯します。
  - 本機の操作中は最小限のインジケーターやメッセージのみが表示されます。
  - 本機の電源をオフにした後もこの設定は保持されます。

ディスプレイの表示を変更する

再生中に DISPLAY（ディスプレイ）を押すたびに、以下のようにディスプレイの表示が切り替わります。

再生メディア	ディスプレイの表示
オーディオ CD	経過時間→再生中の曲の残り時間（TRACK REMAIN）→ CD の残り時間（TOTAL REMAIN）→曲名 * → アーティスト名 * →アルバムタイトル * * CD TEXT がある場合
データ CD、USB メモリー	経過時間→曲名 * →アーティスト名 * → アルバムタイトル * * タグを使用している場合

お知らせ

- 情報ディスプレイには 64 文字まで表示されます（半角英数字と一部記号のみ）。

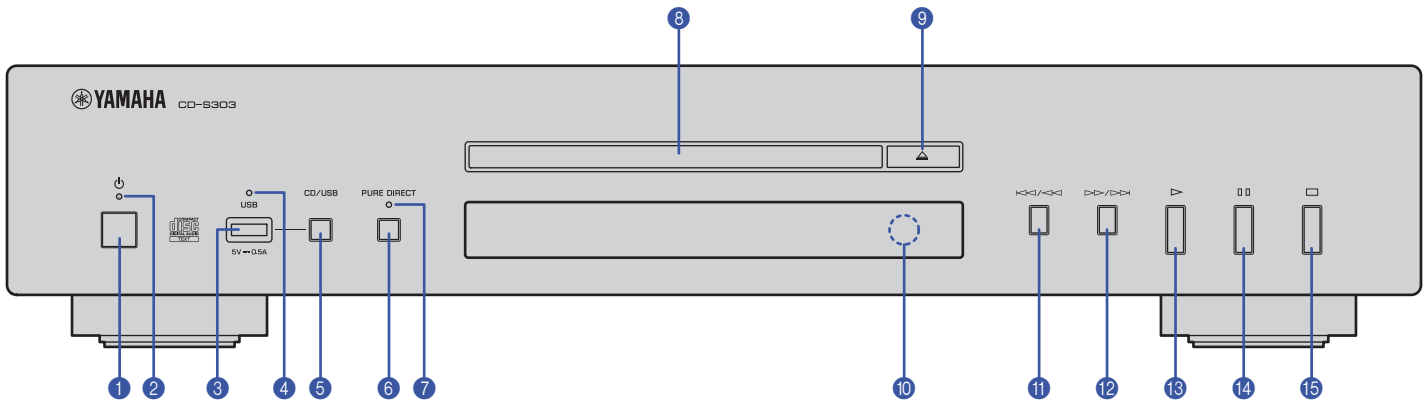
ディスプレイの明るさを変更する

DIMMER（ディマー）を押すたびに、ディスプレイの明るさが 4 段階で変化します。

付録

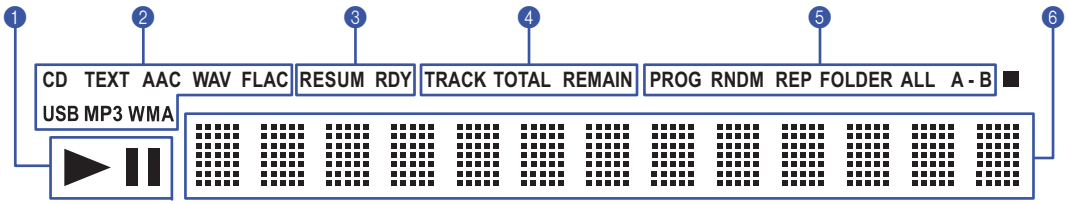
各部の名称

フロントパネル



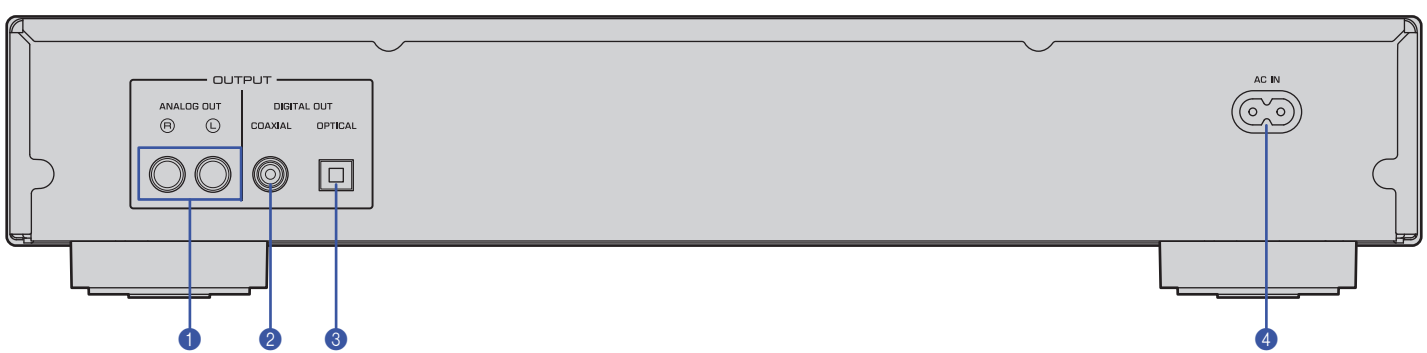
1 ⏻（電源）（11 ページ）
2 電源インジケーター（11 ページ）
3 USB 端子（13 ページ）
4 USB インジケーター（13 ページ）
5 CD/USB（12、13 ページ）
6 PURE DIRECT（15 ページ）
7 PURE DIRECT インジケーター（15 ページ）
8 ディスクトレイ（12 ページ）
9 ⏏（開閉）（12 ページ）
10 リモコン信号受光部（9 ページ）
11 ⏮/◁◁（頭出し / 早戻し）（12、13 ページ）
12 ▷▷/⏭（頭出し / 早送り）（12、13 ページ）
13 ▷（再生）（12、13、14 ページ）
14 ⏸（一時停止）（12、13 ページ）
15 ⏹（停止）（12、13、14、15 ページ）

ディスプレイ



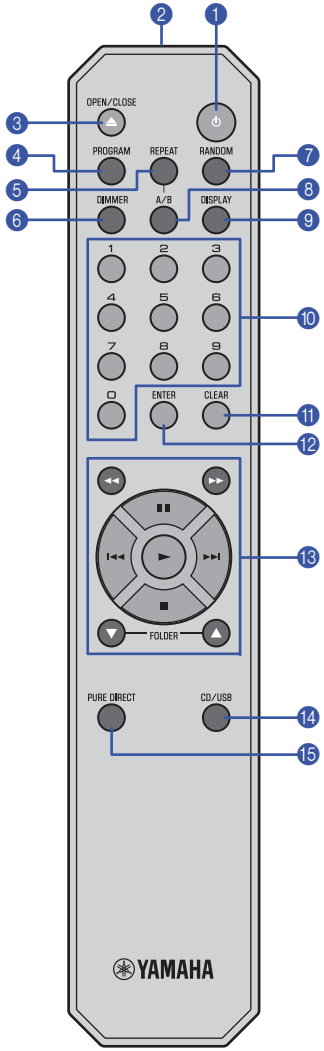
1 ▶ / ▌▌（再生 / 一時停止）インジケーター（12、13 ページ）
2 再生メディアインジケーター（12、13 ページ）
3 詳細設定表示インジケーター（19 ページ）
4 時間表示インジケーター（15 ページ）
5 再生モード表示インジケーター（14、15 ページ）
6 情報ディスプレイ（14、15、19 ページ）

リアパネル



1 ANALOG OUT（アナログアウト）端子（10 ページ）
2 DIGITAL OUT（デジタルアウト）端子（COAXIAL [コアキシャル]）（10 ページ）
3 DIGITAL OUT（デジタルアウト）端子（OPTICAL [オプティカル]）（10 ページ）
4 AC IN 端子（10 ページ）

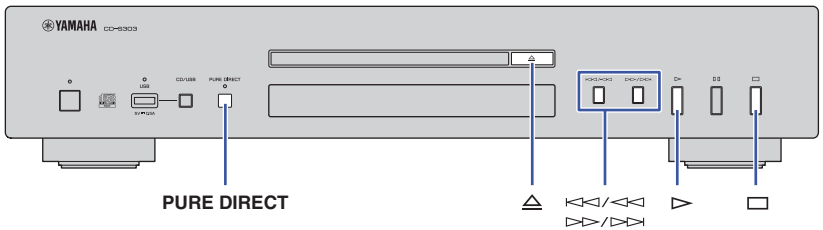
リモコン



1. ⏻（電源）（11 ページ）
2. リモコン信号送信部（9 ページ）
3. OPEN/CLOSE（12 ページ）
4. PROGRAM（14 ページ）
5. REPEAT（14 ページ）
6. DIMMER（15 ページ）
7. RANDOM（14 ページ）
8. A/B（15 ページ）
9. DISPLAY（15 ページ）
10. 数字キー（12、14 ページ）
11. CLEAR（14 ページ）
12. ENTER（14 ページ）
13. ◀◀（早戻し）、▶▶（早送り）（12、13 ページ）
    ❚❚（一時停止）（12、13 ページ）
    I◀◀（頭出し）（12、13 ページ）
    ▶▶I（頭出し）（12、13 ページ）
    ▶（再生）（12、13、14 ページ）
    ■（停止）（12、13、14、15 ページ）
    FOLDER ▲、▼（12、13 ページ）
14. CD/USB（12、13 ページ）
15. PURE DIRECT（15 ページ）

詳細設定

本機の特殊機能を設定します。設定は、主にフロントパネルの操作で行います。



1 本機の電源をスタンバイにする（11 ページ）。

2 PURE DIRECT、⏏（開閉）、▷（再生）を同時に 3 秒以上押す。

フロントパネルの情報ディスプレイに以下が表示され、本機は設定モードに入ります。再生モードメモリー、レディモード、自動再生、自動スタンバイの順に設定できます。



3 ⏮/◁◁、▷▷/⏭ を押して、機能のオン / オフを切り替える。

4 □（停止）を押す。

設定が確定し、次の設定項目が表示されますので手順 3 と 4 を繰り返してください。全ての設定が完了すると、フロントパネルの情報ディスプレイに以下が表示され、本機の電源はスタンバイになります。



お知らせ

- ▷（再生）を押すと、その時点で設定が確定し、本機の電源はスタンバイになります。

再生モードメモリー（PLAY MEM）

本機の電源をオフにしても、リピート再生やランダム再生の設定を保持する機能です。再生モードメモリーをオンにすると、ディスプレイの詳細設定表示インジケーター（RESUM）が点灯します。

初期設定： オフ

お知らせ

- 再生モードメモリーをオンに設定し、本機の電源をオンにすると、前回再生した曲またはファイルの頭から自動再生します。

レディモード（RDY MODE）

曲の再生が終了するたびに一時停止する機能です。お好きなタイミングで次の曲を再生してください。レディモードをオンにすると、ディスプレイの詳細設定表示インジケーター（RDY）が点灯します。

初期設定： オフ

自動再生（AUTO PLAY）

本機の電源をオンにしたときやディスクモードと USB モードを切り替えたとき、自動的に再生を開始する機能です。

初期設定： オン

自動スタンバイ（AUTO STBY）

再生が停止したまま何も操作しない状態が 20 分続いたとき、本機の電源を自動的にスタンバイにする機能です。

初期設定： オン

再生できるファイルフォーマット / ディスク /USB メモリー

❑ 再生できるファイルフォーマット

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数
MP3	32/44.1/48	—	32~320	2
WMA	32/44.1/48	—	48~192	2
AAC	32/44.1/48	—	8~320	2
WAV *	32/44.1/48/64/88.2/96	16/24	—	2
FLAC	32/44.1/48/64/88.2/96	16/24	—	2

* リニア PCM フォーマットのみ。

お知らせ

- データ CD および USB メモリーは、ファイルの作成日が古い順に再生します。
- 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
- 可変ビットレートのファイルを再生中は、経過時間が正確に表示されないことがあります。
- DRM（デジタル著作管理）により保護されたファイルは再生できません。

	データ CD	USB メモリー
フォルダー階層数（ルートフォルダ含む）	9	9
フォルダー数	999	999
ファイル数	1100	65535

❑ 再生できるディスク

下記のマークが付いたディスクをお使いください。

コンパクトディスク（オーディオ CD）

CD-R、CD-RW ディスク

- 下記のいずれかの表示のあるディスク。
  - FOR CONSUMER
  - FOR CONSUMER USE
  - FOR MUSIC USE ONLY
- CD-R または CD-RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。

お知らせ

- 一部の CD-R/CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

CD-TEXT ディスク

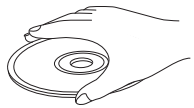
アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。経過時間に加え、上記の情報（英数字と一部の記号のみ）が表示されます。

注意

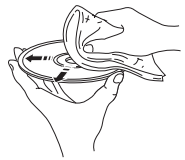
- 変形ディスク、テープやシールを貼ったディスクは使用しないでください。本機の故障の原因となる場合があります。
- 一部の CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。
- 8 センチ CD を再生するには、ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。
- 本機で再生できないディスクを入れると「No Disc」と表示されます。
  この場合は、約15秒待ってからフロントパネルの ⏏（開閉）を押し、ディスクを取り出してください。
  ⏏（開閉）を早く押すと、ディスクの回転が停止しない状態でトレイが開き、ディスクを傷つけるおそれがあります。

❑ ディスクの取り扱い

- 記録面に傷をつけないよう、注意して取り扱ってください。
  ディスクを折り曲げないでください。



- 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ一直線に拭いてください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、またはその他の化学薬品などで絶対にディスクを拭かないでください。
- レーベル面に文字を書くときは、先の軟らかいペンを使用してください。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

❑ 本機で使用できる USB メモリー

本機で USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生する際は、以下のことをご確認ください。

- USB マスストレージクラスに対応している。
- データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されている。

注意

- **お使いの USB メモリーによっては正常に動作しないことがあります。**
- **暗号化機能付きの USB メモリーは使用できません。**
- **ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB メモリーに記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。**
- **すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。**

仕様

本機の主な仕様です。

出力端子

- アナログ音声 × 1（RCA Unbalanced）
- デジタル音声
  COAXIAL（同軸）× 1、OPTICAL（光）× 1

その他の端子

- USB × 1（USB2.0）

オーディオ部

- 出力レベル（1 kHz、0 dB、Fs 44.1 kHz）..... 2.0 ± 0.3 V
- S / N 比（IHF-A ネットワーク）（1 kHz、0 dB、Fs 44.1 kHz）.....105 dB 以上
- ダイナミックレンジ（1 kHz、0 dB、Fs 44.1 kHz）..... 96 dB 以上
- 歪率（1 kHz、0 dB、Fs 44.1 kHz）.....0.003% 以下
- 周波数特性
  オーディオ CD.....2 Hz ～ 20 kHz
  データ CD/USB　Fs48 kHz.....2 Hz ～ 22 kHz
  Fs96 kHz.....2 Hz ～ 44 kHz、–3 dB

レーザー部

- レーザータイプ..... AlGaAs
- 波長.....790 nm
- レーザー出力 .....最大 1.04 mW

総合

- 電源電圧..... AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力.....11 W
- 待機時消費電力
  電源スタンバイ..... 0.2 W
  電源オフ..... 0.2 W
- 寸法（W × H × D）.....435 x 87 x 260 mm
- 質量.....3.5 kg

※本文書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機のフロントパネルの ⏻（電源）を押して電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または別紙の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

症状	原因	対策	ページ
電源スイッチを操作しても電源が入らない	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントに差し込み直してください。	10
ディスクトレイが完全に閉まらない	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。	—
ディスクを入れても再生できない	ディスクに傷がある。	ディスクを交換してください。	—
	本機内部のレンズが結露している。	本機をオンにして 20～30 分待ってから再度ディスクを再生してください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。	—
	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクの汚れを拭き取るか、傷のないディスクに交換してください。	21
	本機が対応していないフォーマットのファイルを再生しようとしている。	本機が対応しているフォーマットで記録されたディスクを使用してください。	20
	本機が対応していないディスクを使用している。	本機が対応しているディスクを使用してください。	20
	本機が USB モードになっている。	CD/USB を押して、ディスクモードにしてください。	12、16、18
再生が遅れて始まったり、正しい位置から始まらない	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクの汚れを拭き取るか、傷のないディスクに交換してください。	21
USB メモリーの再生ができない	USB メモリーが正しく接続されていない。	USB メモリーを接続しなおしてください。	13
	本機が対応していないフォーマットのファイルを再生しようとしている。	本機が対応しているフォーマットで記録されたUSBメモリーを使用してください。	20、21
	本機がディスクモードになっている。	CD/USB を押して、USB モードにしてください。	13、16、18
音が出ない	アンプとの接続が正しくない。	アンプとの接続を確認してください。	10
DIGITAL OUT 端子に接続した機器から音声が再生されない	PURE DIRECT 機能がオンになっている。	PURE DIRECT 機能をオフにしてください。	15
音飛びをする	本機が振動や衝撃を受けている。	設置場所を変えてください。	—
	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクの汚れを拭き取るか、傷のないディスクに交換してください。	21

症状	原因	対策	ページ
ブーンというハム音が入る	ステレオピンケーブルがしっかり接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかり差し込んでください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	10
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い。	チューナーから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。	—
ディスクトレイから雑音がする	ディスクが変形している。	変形していないディスクに交換してください。	—
ディスプレイ表示が消える	PURE DIRECT 機能がオンになっている	PURE DIRECT 機能をオフにしてください。	15
情報ディスプレイにフォルダ名やファイル名が表示されない	フォルダ名やファイル名に半角英数字以外の文字が使用されている。	フォルダ名やファイル名は半角英数字で登録してください。	15
リモコンで操作できない	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	9
	操作範囲から外れている。	操作範囲内で操作してください。	9
	本機のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。	照明または本機の向きを変えてください。	—

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

© 2021 Yamaha Corporation
2024年12月 発行
IPOD-D0

VHK4260

ヤマハ株式会社
〒430-8650　静岡県浜松市中央区中沢町10-1